

## 医動物・種類同定検査結果（令和7年4月～6月）

医動物担当では、人の健康を害する、または不快感を与える昆虫、ダニ、寄生虫等の試験・調査・研究を行っています。

その中の一つとして、各区福祉保健センター、各市場検査所、事業者などの依頼を受け、昆虫類を中心とした種類同定検査を行っています。昆虫類の種類を同定することによって、発生源、発生時期、人に対する害などが分かり、効果的な対策を立てることにつながります。

令和7年4月から6月の3か月間の種類同定検査報告件数は、昆虫類1件（ハエ目）、その他の節足動物1件（クモ目）でした。

検査結果の詳細は以下のとおりです。

相談内容・発生状況等（相談月）	写真（状態、体色、大きさ）	同定結果	生態・その他
マンション1階廊下共用部分にハエが多数飛んでいる。（6月）	 <p>成虫、灰黒色、約5mm</p>	ヒメイエバエ（ハエ目）	小型のハエで、早春から発生する。成虫は、屋内に侵入し、輪舞する。幼虫は動植物性の腐敗物、動物の排泄物、生ゴミなどに発生する。日本全土に分布する。
公園の利用者がハイロゴケグモに似たクモを発見した。（6月）	 <p>背面</p> <p>腹面</p> <p>雌成虫、褐色、背面に斑紋、腹面に砂時計型の赤い斑紋あり、約9mm</p>	ハイロゴケグモ（クモ目）	基本的に攻撃性はないが毒を持っており、外来生物法に基づく特定外来生物に指定されている。体は褐色、灰色または黒色で個体差がある。腹部背面の正中線上に斑紋がある。腹面にゴケグモ類特有（砂時計型）の赤い斑紋がみられる。全世界の熱帯、亜熱帯及び温帯の一部に分布する。 ※1

※1 横浜市内で確認されたゴケグモ属については、以下のウェブページに掲載されています。

【参考】ゴケグモに注意

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/sumai-kurashi/seikatsu/kokyo/gaichu/seakagokegumo.html>

（横浜市医療局ウェブページ）

【微生物検査研究課 医動物担当】